

第6学年 道徳科学習指導案

児童 6年2組 20名

指導者 玉澤 聡子

1 主題名 「友情を深める」 B〔友情, 信頼〕

教材名 言葉のおくりもの（東京書籍「道徳6年 新しいどうとく」P.91-95）

2 主題について

(1) 価値について

本單元における内容項目B「主として人との関わりに関すること」の「友情, 信頼」の第5学年及び第6学年の内容は、「友達と互いに信頼し, 学び合って友情を深め, 異性についても理解しながら, 人間関係を築いていくこと」であり, 第1学年及び第2学年の内容「友達と仲よくし, 助け合うこと」, 第3学年及び第4学年の内容「友達と互いに理解し, 信頼し, 助け合うこと」を受け, 中学校の内容「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち, 互いに励まし合い, 高め合うとともに, 異性についての理解を深め, 悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと」へと発展していく。

友達と良好な関係を築いていくためには, 互いに信頼し合う中で関わり合い, より深く相手を理解することが大切である。また, 異性に対しても相手を尊重しながらともに生活や学習することを通して, 互いに認め合い信頼感や友情を育んでいくことが必要であり, 同性の場合と同様に相手の人格を尊重することが根底にあると考える。本道徳的価値について学習をする中で, 互いを認め合い, 心を通わせて協力したり助け合ったりすることの大切さに気付かせていきたい。

(2) 児童について

高学年の児童にとって, 友達関係は何よりも重要な関心ごとである。自律的になる反面, 偏見や独断等により, 仲たがいをしたり, 思い違いをしたりすることも少なくない。

本学級の児童は, 仲のよい小集団グループが見られるが, グループ同士で一緒に活動したり, ボール遊びやトランプなどで集まって遊んだりすることができる。一方で, 女子には思いやりのある児童が多いが, 互いの思い違いから, 関係がギクシャクしてしまう場面も見られた。また, グループ学習や班での話し合いなど, 教師の指示があるときは, 男女関係なくお互いの考えを伝え合うことができるが, 普段の生活の中で男女がお互いを思い合って協力する場面などはあまり多いとは言えない。児童はこれまでの道徳の学習を通して, 「相手を思いやること」「お互いを理解するために自分の気持ちを伝え, 相手の考えも聞くこと」の大切さを考えてきているが, 自分の思いだけで一方的に相手を非難したり, 相手を傷つけるような言動を平気でしてしまったりする場面も未だ見られる。

そこで, 本時の授業を通して, 相手を尊重する気持ちをもちながら, 互いを理解し合い助け合っていくことが, 友情を育み, 互いを高め合うような人間関係を築いていくことにつながることを気付かせていきたい。

(3) 指導にあたって

「気付く」段階では, 事前アンケートの結果から, 異性と協力し, 助け合うために大切なことは何かを考える学習だと課題を捉えさせる。また, 男女の協力の大切さは感じていても, では, 実際自分だったら一緒に組むことが難しいのでは, と揺さぶり, 自分事として考えられるようにする。

「深める・つかむ」段階では, すみ子と仲のよいことをからかわれるのを嫌がり, わざとすみ子を避けようとしていた一郎の心情の変化を考えさせ, ねらいとする価値へ迫りたい。その際, 心情円を用いて, 男女に関わりなく接するすみ子の姿や考えに触れた一郎の心情のゆれ動きを視覚化させ, 自分事として考えさせる。また, それをもとにペアで伝え合った後, 全体で自分の考えと友達の考えを比べながら話し合い, 多面的多角的に考えさせていく場としたい。

「見つめる」段階では, 男女関係なく助け合って生活するために, 大切なことは何か, また, 実際の場面でどのように生かせるかについて, 自分の生活を振り返りながら書くようにする。

「まとめる」の段階では, 自分自身を振り返りながら教師の説話を聞き, 信じ合ったり, 理解し合ったりすることでより友だち関係は深まっていくことを感じ取らせたい。

3 本時の指導

(1) ねらい

異性の友達に対しても相手を尊重し、協力し合いながらお互いを高め合い、生活しようとする態度を育てる。

(2) 研究仮説の具現化に向けた手立て

①自我関与のさせ方の工夫

場面	ねらい	手立て
導入の場面で、事前アンケートの結果を提示し、課題を設定する場面	児童の道徳的価値の捉えを把握し、異性との協力の大切さを理解しているかや実際の心情との差の意識を捉え、自分事として課題を把握できるようにする。	・アンケートの活用
植木鉢をかたづけ始めたすみ子に対して一郎がおこった態度をとる場面	すみ子は悪くないが、また周りからかわれるのではないかという一郎の葛藤する気持ちに共感できるようにする。	・心情円の活用

②多面的・多角的に考えさせる場のあり方

場面	ねらい	手立て
一郎の誕生日にすみ子も言葉のおくりものを贈り、教室のあちこちから拍手が起こる場面	一郎、すみ子、たかし、それぞれの心情を問うことで、自分と違う立場や感じ方、考え方を理解できるようにする。	・揺さぶる発問

③自分を振り返られる工夫

発問	ねらい	手立て
皆さんの生活の中で、今日の学習をどんな場面でどのように生かせると思いますか。今までの自分はどうだったかを振り返りながら書きましょう。	学習を通して今までの自分の経験を見つめ、自分の考えの深まりに気づき、振り返られるようにする。	・ワークシート

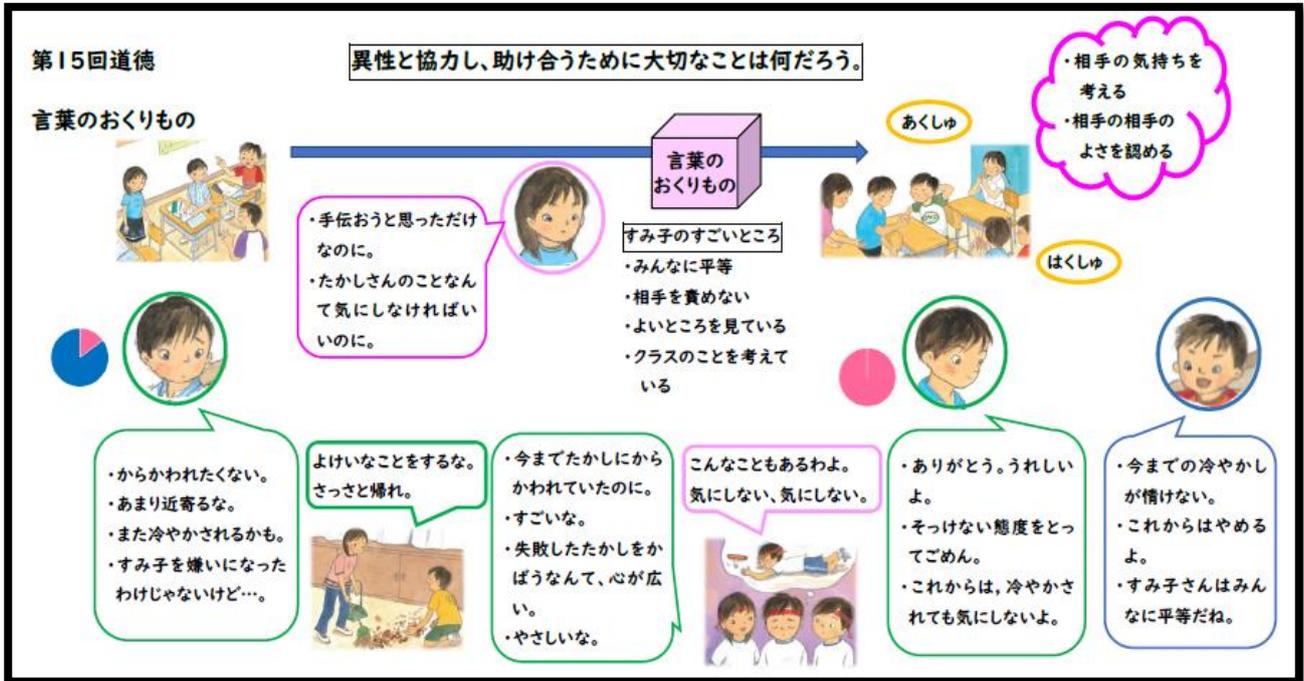
(3) 展開

		学習内容と主な発問	期待される児童の反応	指導上の留意点 (留意点○ 評価★)
導入	気付く 5分	1 アンケート結果を知る。 ○男子と女子が力を合わせて生活することが大切だと思いますか。 ○友達と2人で係活動をする時の考え ・同性と組みたい ・異性と組みたい ・同性でも異性でもよい	・男子と女子が力を合わせることはやっぱり大切だ。 ・自分の意見と違う友達の理由も分かる気がする。	○事前アンケート結果を知ること、男女の協力の大切さをみんなが感じていること、一方で一緒に組むことが難しいと感じることもあることを共感的に捉えられるようにする。[手立て1]
		異性と協力し、助け合うために大切なことは何だろう		○大切なことだけど、実現のために難しい時もあるという意識から課題につなげる。

<p>展開前段</p>	<p>深める つかむ 30分</p>	<p>2 「言葉のおくりもの」を読んで話し合う。</p> <p>(1) まわりからかわれ、すみ子におこった態度をとる一郎の気持ちを考える。</p> <p>○一郎が「よけいなことをするな、さっさと帰れ。」と言ったのはどんな気持ちからだっただろう。 《心情円》 ◇すみ子を受け入れよう→ピンク ◇すみ子を受け入れられない→青</p> <p>○すみ子はその言葉を聞いてどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>(2) たかしをはげますすみ子の姿を見た一郎の気持ちを考える。</p> <p>○リレーで失敗したたかしをかばい、力づけるすみ子を一郎はどう思っただろう。</p> <p>(3) すみ子の言葉のおくりものを聞き、拍手が起こったときの一郎やたかしの気持ちを考える。</p> <p>◎すみ子の「言葉のおくりもの」を聞いて、一郎はこの後すみ子に何と声をかけただろうか。 《心情円》 ◇すみ子を受け入れよう→ピンク ◇すみ子を受け入れられない→青</p> <p>○今までのすみ子とのことを冷やかしてきたたかしは、どんなことに気づいて一郎と握手をしたのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・こんなことからかわれたくない。 ・すみ子と仲がいいと思われるのはいやだ。 ・あまり近寄るな。 ・また誰かに冷やかされるかも。 ・すみ子のことを嫌いになったわけじゃないけど…。 ・手伝おうと思っただけなのに。 ・たかさんのこと気にしているのかな。 ・そんなの気にしなければいいのに。 ・失敗したたかしをかばうなんて、心が広い。 ・今までたかしにもひどい接し方をされていたのに。 ・誰に対しても優しく思いやりをもって接しているんだな。 ・自分の今までの接し方は思いやりがなかったな。 ・ありがとう。うれしいよ。 ・そっけない態度をとってごめん。 ・これからは、冷やかされても気にしないよ。 ・みんなで明るい学級をつくっていこう。 ・今まで冷やかすようなことをしてしまった自分が情けない。 ・すみ子さんはみんなに平等に接することができる友達だ。 ・からかいのない、男女協力できる学級にしていきたい。 	<p>○教材を読む前に、簡単に登場人物の人物像を確認する。</p> <p>○心情円を用いて、すみ子を受け入れられない気持ちを青色で表し、その気持ちを具体的に語らせることで、一郎の不愉快さや怒りなどの葛藤する気持ちを共感的に捉えられるようにする。 [手立て1]</p> <p>○今まで冷やかしを受けていたたかしに対しても励ますすみ子の姿から、男女に関わりなく接するすみ子の考え方を深く考え始める一郎の心の内の気持ちに気付けるようにする。</p> <p>○すみ子の励ましの言葉にはどんな考えがあったからか、補助発問で気づかせる。</p> <p>★性別にこだわらず相手のよさを認めるすばらしい「言葉のおくりもの」が、みんなの心を動かし、よりよい学級をつくっていこうとする気持ちを考えることができる。(ワークシート 発表)</p> <p>○男女関係なく、相手のよさを認めるすみ子の言葉を聞いて、たかしの気持ちも変容していることに気付けるようにする。 [手立て2]</p>
<p>展開後段</p>	<p>見つめる 7分</p>	<p>3 自分自身を見つめ互いの意見を交流する。</p> <p>○皆さんの生活の中で、今日の学習をどんな場面でどのように生かせると思いますか。今までの自分はどうかを振り返りながら書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男子だから、女子だからと決めつけない。 ・相手のよいところを認めてあげる。 ・係活動や班で活動するとき協力することが大事。 ・修学旅行や学習発表会などの行事で生かせると思う。 	<p>★今までの自分を振り返りながら、今日の学習を実際の場面でどのように生かせるかを考えることができる。[手立て3] (ワークシート 発表)</p>

終末	ま と め る 3 分	4 まとめる ・男女関係なく協力している姿の写真等を提示し、自分自身を振り返りながら、教師の説話を聞く。		○男女関係なくお互いのよさを認め合い協力しできる学級にしていきたいなという思いを持つるようにする。
----	----------------------------	---	--	---

4 板書計画





友情を深める

18 言葉のおくりもの

月
日
組
番
名前

■ へ考えよう① すすみ子の「言葉のおくりもの」を聞いて、一郎はこの後すすみ子に何と声をかけただろうか。心情円に変化があれば、その理由もつけて、すすみ子に伝えるように書きましょう。

■ へ考えよう② 皆さんの生活の中で今日の学習をどんな場面でのどのように生かせると思いますか。今までの自分はどうかだったかを振り返りながら書きましょう。

■ 学習のふり返し *当てはまる😊に色をぬりましょう。

よく考えた。



別の考えに気づいた。



自分を振り返った。




〈教材分析図〉

1 教材名 言葉のおくりもの (東京書籍)

2 ねらい 異性の友達に対しても相手を尊重し、協力し合いながらお互いを高め合い、生活しようとする態度を育てる。

主な場面	一郎の消しゴムを拾ったすみ子に感謝の気持ちを表したことで冷やかされる。	子ども会のリレーで、たかしがバトンをおとしてしまうが、すみ子はそれをかばう。	一郎の誕生日にすみ子も言葉のおくりものを贈り、教室のあちこちから拍手が起こる。
心の動き	<ul style="list-style-type: none"> こんなことからかわれたくない。 すみ子と仲がいいと思われるのはいやだ。 あまり近寄るな。 	<ul style="list-style-type: none"> 失敗したたかしをかばうなんて、心が広い。 今までひどい接し方をしていたのに。 誰に対しても優しく思いやりをもって接している。 	<ul style="list-style-type: none"> すみ子の励ましはうれしくありがたい。 これまでの自分の態度が恥ずかしい。 これから男女仲の良い友達でいたい。 すみ子の言うようにみんなで明るい学級をつくりたい。
価値の関連			
気付かせたいこと	すみ子と仲の良いことを、からかわれたり、みんなに言いふらされたりするのを嫌がり、わざとすみ子を避けようとしている一郎の気持ち。	今まで冷やかしを受けていたたかしに対しても励ますすみ子の姿から、男女に関わりなく接するすみ子の考え方を深く考え始める一郎の心の内の気持ち。	すみ子の性別にこだわらず相手のよさを認めるすばらしい「言葉のおくりもの」が、みんなの心を揺さぶり、よりよい学級をつくっていかうとする気持ち。
主な発問	○一郎が「よけいなことをするな、さっさと帰れ。」と言ったのは、どんな気持ちからだったのだろう。	○リレーで失敗したたかしをかばい、力づけるすみ子を一郎はどう思っただろう。	○すみ子の「言葉のおくりもの」に、一郎やたかしはどう思ったでしょう。